

キャニオニング 行程例

1. 内容

ウエットスーツにライフジャケットを装着し、ヘルメットをかぶって利根川の源流の沢を体一つで下っていきます。時には滝つぼに飛び込んだり、天然のウォータースライダーをすべったりして、全身で大自然を体感します。

2. タイムテーブル

- 13:00 アウトドアカンパニーに移動
ウエットスーツに着替え、専用バスでスタートポイントまで移動
- 13:30 セーフティトーク、ライフジャケット配布確認
ガイドの先導で、沢にそって山道を登っていく
- 14:00 登ってきた沢を今度は、体一つで川の流れに身を任せ下っていく
- 15:30 活動終了。アウトドアカンパニーに戻り、着替え
- 16:00 活動の振り返り、まとめ、終了



キャニオニング体験 実施までの流れ

事前準備

実施1ヶ月前まで

- 参加同意書（参加確認書・保険申込書）の提出
- 班名簿・サイズ表・配慮リストの提出（弊社指定エクセルデータ）

- ・最大10名で班編成
- ・参加する先生も生徒と同様です
- ➔ 既往症、持病、ケガ等の配慮事項をチェック後、詳細のヒヤリングや保護者・医師への確認等の配慮事項対応リストをお送りします

実施2週間前まで

- 配慮事項対応リストの提出

実施1週間前まで

キャニオニング会社決定

- 引率者人数の確定 A.参加 / B.見学（ツアーに同行して見学はできません）

持ち物

- 水着（水着の上にウェットスーツを着用します）
- メガネの人はメガネバンド
- コンタクトの人はスイミング用ゴーグル（※1）
- 名前を記入したマスク用のジップロック袋（スタート地点への移動中に車内で着用する場合）
- 肌の弱い人は化繊のインナー上下
- フェイスタオルまたはスポーツタオル
- 濡れた水着やタオル用のビニール袋
- 上記の必要なものを持ち運ぶバッグ

※1. コンタクトの方は、使い捨てを推奨（念のため予備を持参ください）

*運動靴はこちらで用意します *メガネ等携行品の破損、紛失は保証いたしかねます

実施当日

- ・出発地または宿泊先を出発する前にお手洗いを済ませ水着に着替えることをおすすめします
- ・キャニオニングに必要な荷物だけを入れたバッグを観光バスの座席に持ち込んでください
- ・貴重品は原則、学校で管理ください
- ・着替えの荷物はラフティング会社で保管

写真撮影

スタート、ゴール地点の集合写真のみ撮影可能。
ツアー中の写真は有料でガイドに依頼することもできます

タイムスケジュール（例：午後の部）

- 13:00** 観光バスでキャニオニング会社に着替えの説明。体型に合わせたウェットスーツを受け取り、更衣室で着替え（水着の上からウェットスーツを着用・荷物はキャニオニング会社で保管）ライフジャケットとヘルメットを装着しキャニオニング会社の送迎車でスタートポイントまで移動
- 13:30** セーフティーク、ライフジャケット装着確認。ガイドの先導で、沢にそって山道を登っていく
- 15:00** スタートポイントまで戻る。担当ガイドが怪我の有無を確認し、ツアー終了。各キャニオニング会社の送迎車で会社へ移動
- 15:30** キャニオニング会社に戻り、着替え
- 16:00** 再度怪我の確認を行い、振り返りをして終了

雨天時対応

- ・川の増水によりリスクが高い場合は、当日、ガイドがラフティング（川または湖）への振替判断をします
- ・実施不可能な荒天が予測される場合は、前日にガイドが中止判断をします（中止の場合は工芸体験などに振替手配ください）